

山口県金融・経済レポート

山口県の生産と輸出の動向

～ 国別、品目別の輸出動向に焦点を当てて ～

NO. 12

2009年8月

日本銀行下関支店

本ペーパーは、永田 佳久が作成しました。

内容に関する照会は、日本銀行下関支店総務課・福山、永田

(Tel : 083-233-3140、E-mail : shimonoseki@info.boj.or.jp)までお寄せ下さい。



(要 旨)

昨年の秋以降、急速に悪化した県内景気は、足許では下げ止まりに転じているが、今次局面では、企業の生産水準が輸出の増加に支えられて回復し、全国よりも高めの水準で推移していることが大きな特徴点となっている。

企業の生産水準（鉱工業生産指数＜I I P＞）をみると、全国と比較した場合、山口県は、今次景気後退局面における下げ止まりのタイミングが幾分早く、落ち込みの度合いも浅かったため、足許は08年上期の8割強と、全国（7割強）に比べかなり高めの水準まで回復してきている。こうした生産水準の持ち直しには、山口県の主力産業である化学工業と輸送機械（主に自動車）工業の生産回復が大きく寄与している。

これら製品の生産水準が回復している背景には、輸出の増加がある。県内の輸出額は、本年1月をボトムに増加に転じており、それが生産回復の主因となっているが、その内訳をみると、主力製品である化学製品と輸送用機器の寄与度が大きい。

山口県における国（地域）別の輸出比率は、韓国、中国、EU諸国、北米の4か国（地域）で全体の7割弱を占めている。各国（地域）に対する輸出品目には特徴があり、韓国は一般機械、中国は化学製品、EU諸国と北米は輸送用機器が、各々高い割合を占める構造となっている。

そこで、国別、品目別の輸出額の推移をみてみると、現在の山口県の輸出の増加は、中国における景気刺激策に伴う化学製品の需要拡大と、欧米政府の自動車買い換え促進策に後押しされたEU諸国、北米での自動車需要の持ち直しに支えられている面が大きいことが分かった。このため、これら国々における今後の経済の行方が、山口県の輸出や生産に大きな影響を及ぼすものと考えられる。

中国については、家電普及促進策などの消費刺激策を通じて内需の拡大に努めているものの、主要輸出先である米国等の景気回復に向けた動きが緩慢な中で、内需主導型の成長を維持し得るのか、また、現地企業との競合が激化する中、県内企業が現在のシェアを維持し得るのか、等が先行きのポイントになる。一方、EU諸国や北米については、経済全体の成長が緩やかな中で、これまでの在庫調整の反動とみられる現在の輸出増が今後も持続するかがポイントになる。

このように、中国をはじめとする世界経済の持ち直しは、輸出や生産の増加という形で山口県経済に恩恵をもたらしているが、今後は、こうしたグローバル需要の内容がどのように変質していくか、上記のようなリスク要因を念頭に置きつつ、入念に点検していく必要がある。

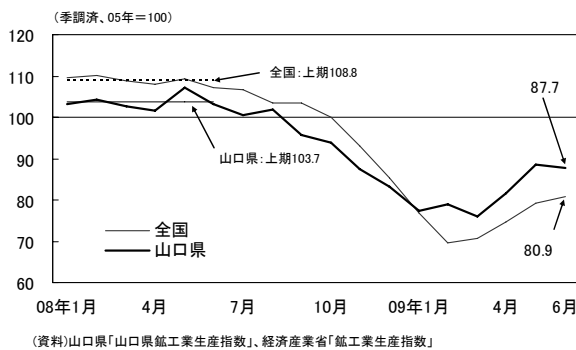
1. はじめに

昨年の秋以降、急速に悪化した県内景気は、足許では下げ止まりに転じているが、今次局面では、企業の生産水準が輸出の増加に支えられて回復し、全国よりも高めの水準で推移していることが大きな特徴となっている。そこで、本レポートでは、企業の生産と輸出について、最近の動きをやや仔細に眺めることを通じて、山口県経済の特徴点を整理した。

2. 鉱工業生産指数（I I P）の動向

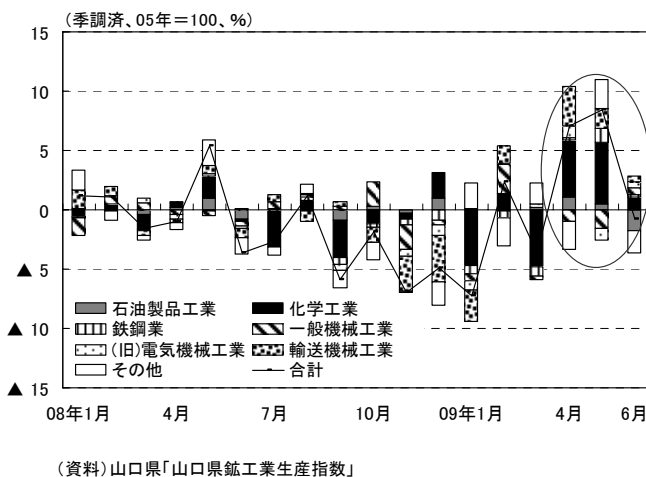
企業の生産水準（鉱工業生産指数＜I I P＞）をみると、全国と比較した場合、山口県は、今次景気後退局面における下げ止まりのタイミングが幾分早く、落ち込みの度合いも浅かったため、足許は08年上期の8割強（84.6%＜08/上期103.7→09/6月87.7＞）と、全国（74.4%＜同108.8→同80.9＞）に比べかなり高めの水準まで回復してきている（図表1）。

（図表1）山口県と全国の鉱工業生産指数（I I P）の推移



上記について、前月比の業種別寄与度をみると、I I Pが明確に持ち直しに転じた09/4月から、山口県の主力産業である化学工業と輸送機械（主に自動車）工業の生産回復が大きく寄与していることが看取できる（図表2）。

（図表2）山口県のI I Pの業種別前月比寄与度



【参考】I I Pの業種別構成比の内訳

▽化学工業

- ・有機薬品 22.4%
- ・プラスチック 20.4%
- ・環式中間物・合成染料 18.4%
- ・医薬品 13.4%
- ・その他 25.4%

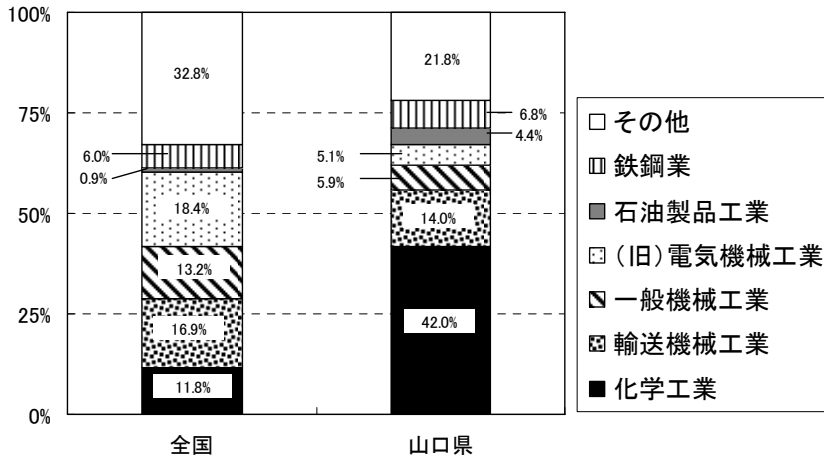
▽輸送機械工業

- ・乗用車 70.8%
- ・自動車の部分品 21.7%
- ・その他 7.5%

(05年基準)

—— I I Pの業種別構成比をみると、山口県は、化学工業のウェイトが全国の4倍程度と突出している（図表3）。山口県は、化学工業と輸送機械工業で、全体の半分以上（56.0%）を占めており、最近では、これら主力2業種が全体の水準を押し上げている。

（図表3） I I Pの業種別構成比（05年基準）



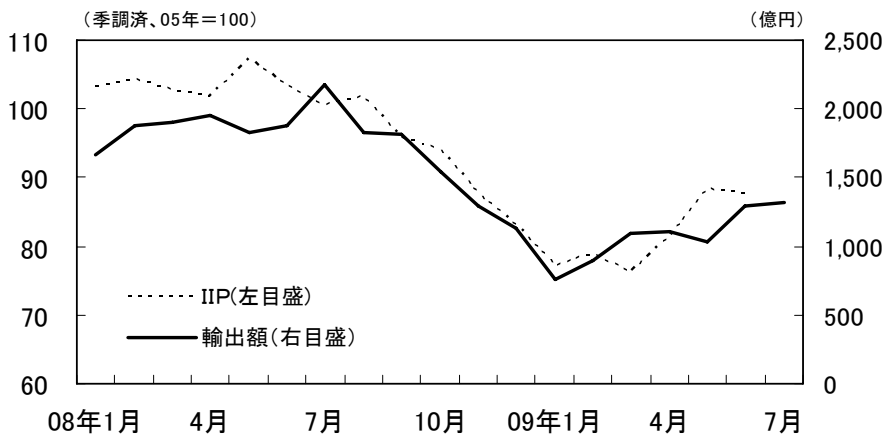
（資料）山口県「山口県鉱工業生産指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

3. 輸出の動向

（1）輸出額の推移と輸出構造

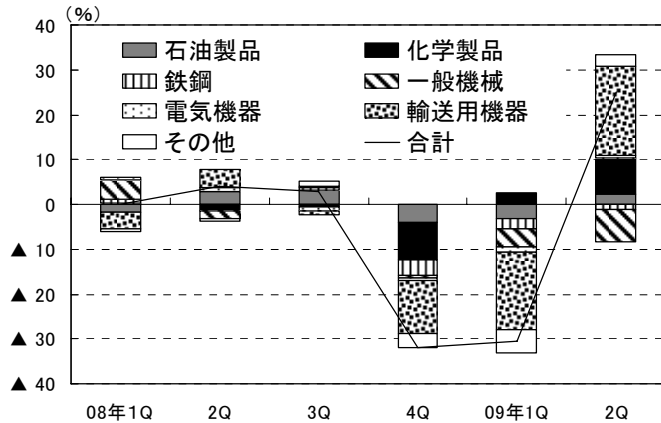
化学工業と輸送機械工業の生産水準が回復している背景には、輸出の増加がある。県内の輸出額は、本年1月をボトムに増加に転じており、それが生産回復の主因となっている（図表4）が、その品目別内訳をみると、09年第2四半期（09/4～6月）は、主力製品の化学製品と輸送用機器が前期（09/1～3月）比で大幅に増加している（図表5～6）。

（図表4）山口県の I I P と輸出額の推移



（資料）門司税関「貿易統計」、山口県「山口県鉱工業生産指数」

(図表5) 山口県の輸出額の品目別前期比寄与度



(資料) 門司税関「貿易統計」

【参考】輸出の製品別構成比の内訳

▽化学製品

- ・有機化合物 54.2%
- ・プラスチック 32.0%
- ・その他 13.8%

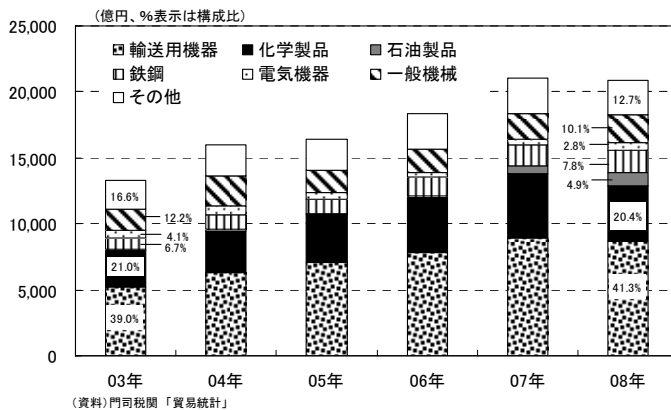
▽輸送用機器

- ・自動車 85.9%
- ・自動車の部分品 8.0%
- ・その他 6.1%

(08年中)

山口県の輸出額の製品別内訳をみると、化学製品と輸送用機器が全体の6割を占めている。輸出額は、03年から08年にかけて、5年間で1.5倍に拡大しているが、品目別の構成比は殆ど変化していない(図表6)。

(図表6) 山口県の輸出額の推移

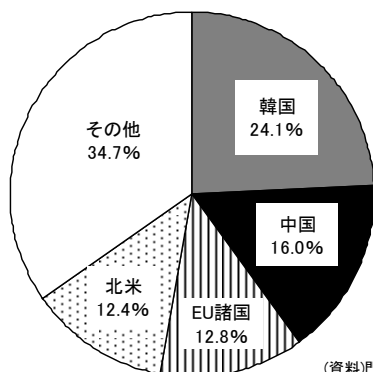


(資料) 門司税関「貿易統計」

(2) 国別の輸出動向

山口県の国(地域)別の輸出ウェイト(08年中)をみると、韓国が全体の1/4を占め、次いで中国が16%、EU諸国と北米が夫々12%と続いております、この4か国(地域)で県輸出全体の7割弱を占めている(図表7)。

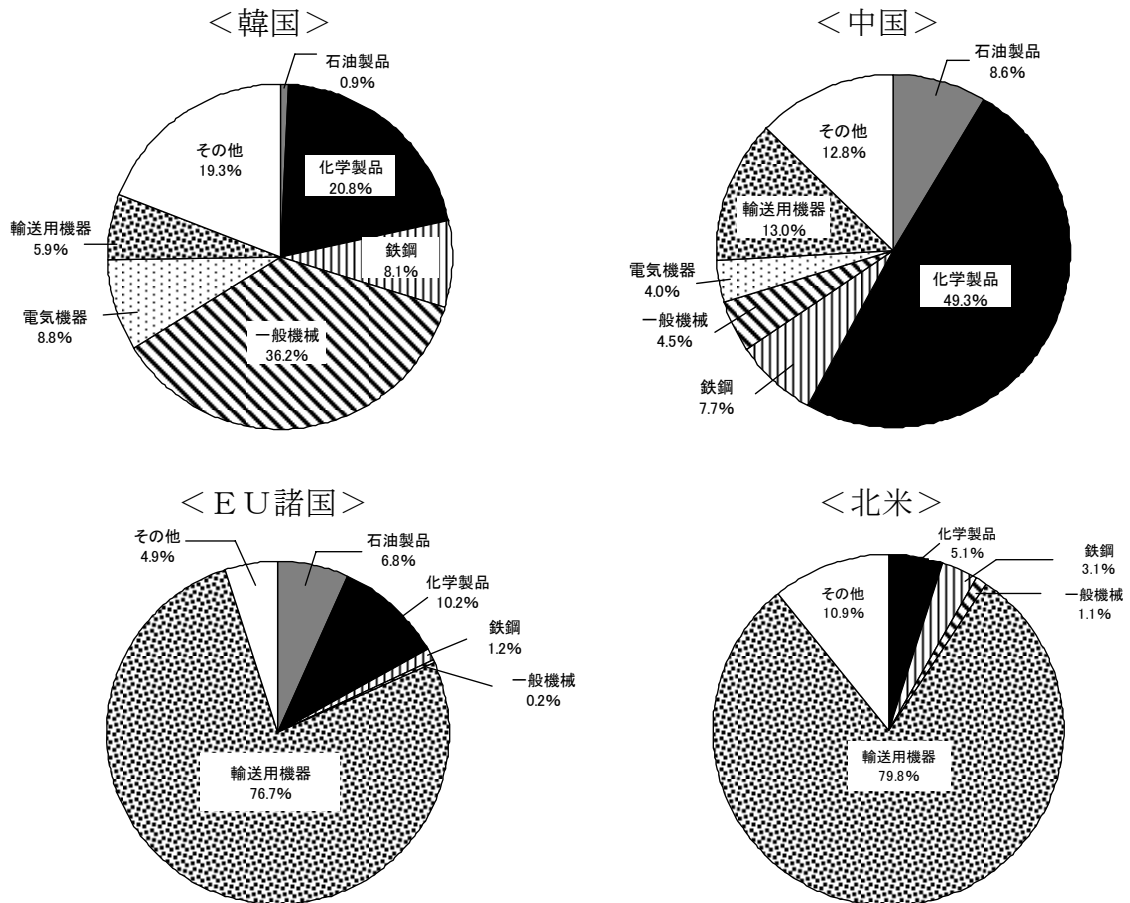
(図表7) 輸出額に占める各国(地域)の構成比(08年中)



(資料) 門司税関「貿易統計」

各国（地域）に対する輸出品目には特徴があり、韓国は一般機械（36.2%）、中国は化学製品（49.3%）、EU諸国と北米は輸送用機器（EU諸国 76.7%、北米 79.8%）が、各々高い割合を占める構造になっている（図表8）。

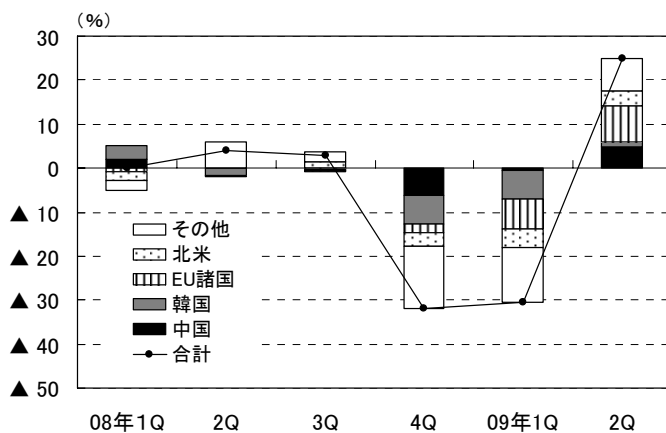
（図表8）各国（地域）別輸出構成比（08年中）



（資料）門司税関「貿易統計」

こうした下で、国別の前期比寄与度をみると、09年第2四半期は、全ての国（地域）が増加に転じており、中でもEU諸国と北米、および中国の寄与度の大きさが目立つ（図表9）。

（図表9）山口県の輸出額の国別前期比寄与度



（資料）門司税関「貿易統計」

そこで、国別、品目別の輸出額の推移をみると、現在の山口県の輸出の増加は、中国向けの化学製品、およびEU諸国と北米向けの輸送用機器の増加が支える形となっている。この間の動きを各国（地域）別にやや仔細にみると、以下のような特徴点が認められる（図表10<次頁>）。

① 輸出額は、4か国（地域）とも、09年第1四半期をボトムとして、09年第2四半期には前期比で増加に転じているが、中国については、大規模な景気刺激策が08年中に公表され¹、その効果が09年初から表出したこともあって、主力製品である化学製品の輸出は09年第1四半期には増加に転じている。

—— 中国の景気刺激策は、当初はインフラ投資が主体であったが、続けて施行された家電普及促進策等の消費刺激策²が、塩ビ樹脂等のプラスチックの需要を拡大し、これが山口県の化学製品の輸出増に繋がっていると考えられる。

② 一方、山口県にとって最大の輸出国である韓国については、化学製品は増加しているものの、主力の一般機械が韓国における設備投資の減少を映じて大きく減少しており、これが下押し圧力となって、足許の増加幅も小幅に止まっている。化学製品の輸出増は、これを原材料とする製品の韓国から中国への輸出が増えていることを映じたものであり、中国需要への依存度が一段と高まっていると考えられる。

③ EU諸国、北米については、輸送用機器の輸出が、当該輸出先における自動車買い換え促進策（スクラップ・インセンティブ）³や、現地在庫の順調な調整進捗を反映し、大幅に増加している。

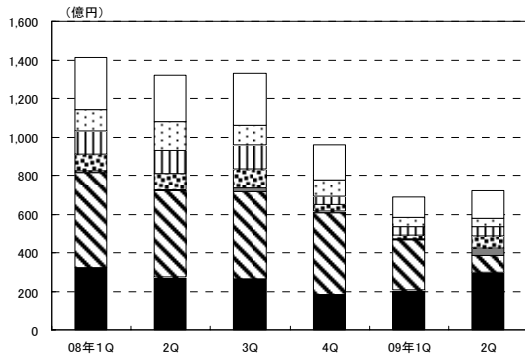
¹ 中国政府は、08年11月9日に、事業総額「4兆元（57兆円）」の経済対策を実施することを公表。

² 当初は農村地区における家電や自動車の購入者に対する補助金の交付を導入。これに続いて、本年6月には、都市部においてもエコ製品への買い換え補助制度の導入を決定した。

³ 自動車買い換え促進策（スクラップ・インセンティブ）は、フランス（08/12月～09/12月）、ドイツ（09/1月～同12月）、イタリア（09/2月～同12月）、イギリス（09/5月～10/3月）、米国（09/7月～同11月）のほか、中国、韓国、マレーシアなど、幅広い国で導入されている。

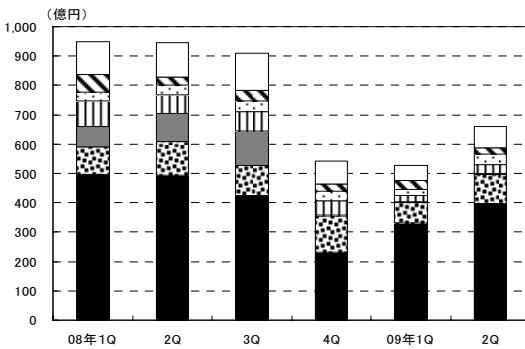
(図表10) 国別、品目別輸出額の推移

< 韓国 >



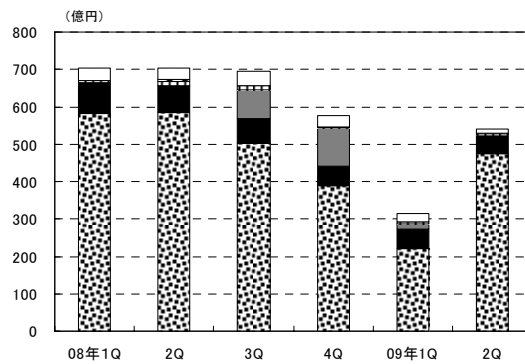
	08年4Q	09年1Q		09年2Q	
			寄与度 (08年4Q対比)		寄与度 (09年1Q対比)
合計	957.6	689.4	▲28.0	720.5	+4.5
石油製品	8.6	4.3	▲0.4	41.6	+5.4
化学製品	181.8	208.9	+2.8	301.1	+13.4
鉄鋼	44.4	43.9	▲0.1	47.9	+0.6
一般機械	426.0	258.2	▲17.5	82.5	▲25.5
電気機器	83.1	48.1	▲3.7	46.8	▲0.2
輸送用機器	33.5	18.0	▲1.6	60.4	+6.2
その他	180.0	107.6	▲7.6	139.9	+4.7

< 中国 >



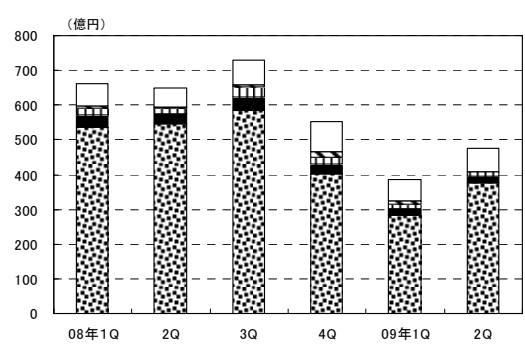
	08年4Q	09年1Q		09年2Q	
			寄与度 (08年4Q対比)		寄与度 (09年1Q対比)
合計	541.3	525.7	▲2.9	659.3	+25.4
石油製品	2.9	5.0	+0.4	2.9	▲0.4
化学製品	232.8	330.1	+18.0	398.7	+13.1
鉄鋼	46.9	19.2	▲5.1	27.9	+1.7
一般機械	26.0	30.1	+0.7	22.2	▲1.5
電気機器	32.7	20.4	▲2.3	36.0	+3.0
輸送用機器	123.6	69.7	▲9.9	99.1	+5.6
その他	76.1	51.0	▲4.6	72.1	+4.0

< EU諸国 >

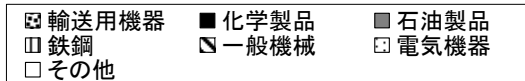


	08年4Q	09年1Q		09年2Q	
			寄与度 (08年4Q対比)		寄与度 (09年1Q対比)
合計	576.7	313.7	▲45.6	540.7	+72.3
石油製品	103.8	14.1	▲15.6	0.0	▲4.5
化学製品	52.1	51.1	▲0.2	49.8	▲0.4
鉄鋼	3.1	6.2	+0.6	3.5	▲0.9
一般機械	0.4	0.1	▲0.0	0.2	+0.0
電気機器	—	—	—	—	—
輸送用機器	388.0	221.6	▲28.8	474.8	+80.7
その他	29.1	20.3	▲1.5	12.0	▲2.6

< 北米 >



	08年4Q	09年1Q		09年2Q	
			寄与度 (08年4Q対比)		寄与度 (09年1Q対比)
合計	551.0	383.9	▲30.3	474.1	+23.5
石油製品	—	—	—	—	—
化学製品	27.1	20.9	▲1.1	19.7	▲0.3
鉄鋼	20.5	10.5	▲1.8	12.7	+0.6
一般機械	14.2	11.3	▲0.5	0.4	▲2.8
電気機器	—	—	—	—	—
輸送用機器	402.3	282.3	▲21.8	376.1	+24.5
その他	86.6	58.8	▲5.0	64.9	+1.6



(資料) 門司税関「貿易統計」

4. 今後のポイント

本レポートでは、国別、品目別の輸出額の推移を仔細にみることを通じて、現在の山口県の輸出の増加が、中国における景気刺激策に伴う化学製品の需要拡大と、欧米政府の自動車買い換え促進策に後押しされた北米、EU諸国での自動車需要の持ち直しに支えられている面が大きいことが分かった。このため、これら国々における今後の経済の行方が、山口県の輸出や生産に大きな影響を及ぼすものと考えられる。

中国については、家電普及促進策などの消費刺激策を通じて内需の拡大に努めているものの、主要輸出先である米国等の景気回復に向けた動きが緩慢な中で、内需主導型での成長を維持し得るのか、また、現地企業との競合が激化する中、県内企業が現在のシェアを維持し得るのか、等が先行きのポイントになる。一方、EU諸国や北米については、経済全体の成長が緩やかな中で、これまでの在庫調整の反動とみられる現在の輸出増が今後も持続するかがポイントとなる。

このように、中国をはじめとする世界経済の持ち直しは、輸出や生産の増加という形で山口県経済に恩恵をもたらしているが、今後は、こうしたグローバル需要の内容がどのように変質していくか、上記のようなリスク要因を念頭に置きつつ、入念に点検していく必要がある。

以 上